

イン L 型光 D ケーブル SS・キャップ W51 セット

イン製品のお買い上げ有難う御座います。

イン L 型光 D ケーブル SS・キャップ セット シリーズ は、対応するデジタルカメラハウジング / マウントベースと弊社デジタルカメラ対応ストロボとを接続する光接続ケーブルです。

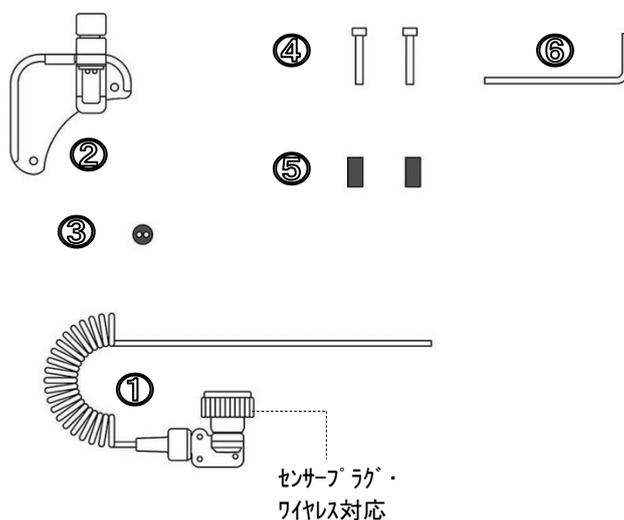
本キャップ W51 セットは、キヤノンのデジタルカメラ用純正ハウジング「WP-DC35」と、対応する弊社「28AD マウントベース・DC35」、或いは、同「WP-DC38」/「WP-DC43」と、対応する弊社「28LD マウントベース」とを組み合わせ、弊社「シューベースセット」で 28AD マウントベース/28LD マウントベースに直接ストロボ取り付けを行うシステム専用となります。

製品の主な特徴

- 光ファイバーを用いた[光 D ケーブル接続]により、従来のワイヤレスレグ接続に比べ、水面直下や逆光といった外光の多い条件下でも、より確実にレグ発光を可能としています。
- デジタルカメラシステムを拡張する為のコパーツ、弊社マルチバースペース「28AD マウントベース」/「28LD マウントベース」に直接取り付け可能。簡単/確実/コンパクトに外部ストロボとの接続を行う事が可能です。
- ストロボとの接続に使用する「L 型光 D ケーブル」類を 2 本まで固定可能な為、2 灯システムにも容易に対応可能です。

製品内訳

- ・ L 型光 D ケーブル SS ① × 1
- ・ キャップ W11/W29/W51・遮光板ユニット本体 ② × 1
- ・ 光ガイドキャップ W6/W11/W13/W29/W33/W45/W51 ユニット × 1
- ・ 光ガイドキャップ WL × 1
- ・ 光ガイドミラー M × 1
- ・ キャップ固定ダイヤル × 1
- ・ 光ファイバ固定ダイヤル × 1
- ・ 光ファイバ固定ゴム × 1
- ・ 遮光板・右 × 1
- ・ 予備光ファイバ固定ゴム ③ × 1
- ・ キャップネジ ④ × 2
- ・ スパース ⑤ × 2
- ・ 六角レンチ ⑥ × 1
- ・ 使用説明書(本書) × 1



- 対応カメラハウジング / マウントベース (2018 年 5 月現在)
- ・ キヤノン WP-DC43 + イン 28LD マウントベース・DC43
 - ・ キヤノン WP-DC38 + イン 28LD マウントベース・DC38
 - ・ キヤノン WP-DC35 + イン 28AD マウントベース・DC35

接続対応ストロボ (2018 年 5 月現在) **L 型光 D ケーブルをそのまま、取付け可能な機種(ワイヤレス対応、ストロボ)**

- ・ イン Z-330、S-2000、Z-240【Type4】、D-2000【Type4】

L 型光 D ケーブルのセンサーラックを、「センサーラック・ワイヤレス非対応」(別売)へ交換する必要がある機種(ワイヤレス非対応、ストロボ) (※)

- ・ イン Z-240【Type3/Type2/Type1】、D-2000【Type3/Type2/Type1】
D-2000W、D-2000Wn、D-2000S、D-180、D-180S、Z-220F、Z-220、Z-220S
- ・ イン TTL 調光センサー Z + イン Z-22
- ・ イン TTL 調光センサー SB + 対応する TTL オートストロボ
- ・ イン TTL 調光センサー YS + 対応する TTL オートストロボ
- ・ イン フォーカスライトコントローラー + イン Z-220F/Z-220S/Z-220/Z-22



「センサーラック・ワイヤレス非対応」
【別売】

(※) 交換方法については、「センサーラック・ワイヤレス非対応」付属の「ストロボ側 L 型コネクタ仕様変更手順書」をご参照の上、センサーラックの交換を行ってからご使用下さい。

接続方法

本製品による光 D ケーブル接続には、以下の 2 パターンが可能です。撮影条件やご使用用途により、適宜お選び頂けますが、通常は(A)接続をお勧め致します。

- (A) **本製品の遮光板を使用** : 通常の接続法。 【第一選択】
- (B) **28AD マウントベース/28LD マウントベース** : マクロ撮影などの際、カメラ内蔵ストロボ光を使用したい場合に選択します。(※)
- (C) **付属の拡散板を使用** 【特定用途】

※: マクロ撮影でカメラ内蔵ストロボ光を使用したい場合のみ。

カメラ内蔵ストロボを遮光しない事により、調光精度が低下する場合があります。ご留意下さい。詳細は本書末の囲み記事をご確認下さい。

取り付け方法 :

接続法 (A) のみ

- ・ **キャップ W11/W29/W51・遮光板ユニット本体を取り付けます**
 対応する 28AD マウントベース/28LD マウントベースの拡散板を、付属の六角レンチを用いて取り外した後、付属のキャップネジ/スプーサーでキャップ W11/W29/W51・遮光板ユニット本体を取り付けます。
必ず右画像の位置にスプーサーを挟んで下さい。
強く締め過ぎると、遮光板が破損しますので、ご注意ください。



接続法 (B) のみ

- ・ 光ファイバ固定ダイヤル、光ファイバ固定ゴム、キャップ固定ダイヤルの順に外し、光ガイドキャップ WL と光ガイドミラー M を取り外した後、逆の手順で AD マウントベースの拡散板に取り付けます。
 拡散板/遮光板に光ガイドキャップを取り付ける際には、拡散板/遮光板に開いている 2 つの穴の内、加付側から見て右側の穴に取り付けて下さい(右画像矢印)。

こちら側に取り付ける



遮光板・右をカメラ側下から見た画像



接続法 (A) / (B)

- ・ **28AD マウントベース/28LD マウントベースをハウジングへ取り付けます**
 28AD マウントベース/28LD マウントベース付属の使用説明書を参考にして、ハウジングへ取り付けます。

接続法 (A) / (B)

- ・ **L 型光 D ケーブルを取り付けます**
 光ファイバ固定ダイヤルを左図の様に回して緩めてから、光ファイバ固定ゴムの穴に L 型光 D ケーブル SS のケーブル断端側を差し込み、奥まで達している事を確認後、光ファイバ固定ダイヤルを押し込んで固定します。L 型光 D ケーブル類は 1 本のみでも、2 本同時でも、どちらでも固定する事が可能です。
 L 型光 D ケーブル SS のケーブル断端の取付が終了した後、コネクタ側をストロブのセンサー部に取り付けます。



使用上の注意 :

- ・ L 型光 D ケーブル SS は超耐久仕様(最小曲げ半径 2mm)となっておりますが、それ以上曲げたり、強い刺激が加わったりすると、内部で折れる可能性があります。また、長時間曲げたままにすると形状が記憶されてしまいます。正常に信号が伝わらなくなりましたら、オプションの「交換用光ファイバ-L 型光 D ケーブル SS 用」と交換して下さい。
- ・ L 型光 D ケーブル SS をハウジングやストロブに接続した状態で、ケーブルを持ってそれらを持ち運ぶなどすると、光ファイバが L 型コネクタから外れたり、ストロブ/L 型コネクタ/光ファイバ等が破損する恐れがあります。このような扱いは避けて下さい。

メンテナンスについて :

- ・ ご使用後は、真水中 (30℃以下) に数時間静置して塩分等をよく取り除いた後、エアガン等で水滴を吹き飛ばし、直射日光の当たらない、風通しの良い場所に置き、乾燥させて下さい (完全乾燥には数日掛かります)。
- ・ 特に 光ケーブル両端の光ファイバ断面は、キャップ W11/W29/W51・遮光板ユニット本体から外した状態で丁寧に洗い、塩分を良く落して下さい。光 D ケーブルの断面に傷が付いたり、塩分が残留して曇ってしまったら、信号がうまく伝わらなくなる場合があります。
- ・ 取り外したキャップ W11/W29/W51・遮光板ユニット本体は、構成部品を無くさない様注意して下さい。
- ・ 上述の理由等で信号が伝わり難くなった場合や、ケーブルを短くして使用するには、必要に応じて光ファイバを切る事が出来ます (L 型コネクタ側の光ファイバを切断する場合は、弊社ホームページの『TOP > テクニカル > L 型光ケーブル分解組立』にて公開しております『L 型コネクタ仕様変更手順書』をご参照下さい)。
- ・ 光 D ケーブルの切断には、カシメやカッターナイフ等、鋭利な刃物を使って下さい。切断の際、光 D ケーブルの中心にある光ファイバの切断面に凹凸が出来ると、光信号が伝わり難くなります。切断前の状態よりも断面の凹凸が酷くなった場合や、切断後に信号が伝わり難くなった場合は、切断作業をやり直して下さい。



- 各作業等を行うに当たって**
- 本書で説明を行っている「各作業」等は、プロダクツの製造元であるキノン/キノンマーケティングジャパンが関知している物ではありません。「各作業」等についてのご質問、お問合せ等は、決してキノン/キノンマーケティングジャパンに行わないで下さい。また、同様の理由により、「各作業」等を行う場合、お客様ご自身が全ての責任を負う必要がある事をご確認下さい。
 - 「各作業」等を行う事によって、プロダクツの保障期間内であっても、キノン/キノンマーケティングジャパンの無償修理を受ける事が出来なくなる可能性があります。予めご了承下さい。プロダクツの保証条項詳細につきましては、対応するバージョンの付属の使用説明書/保証書をご確認下さい。
 - 万一、「各作業」等を行う事によって不具合(プロダクツ本体、プロダクツ付属品、プロダクツ内にセットするカメラ本体等の不具合等)が生じた場合、弊社は一切、その責任を負いかねます。
 - 万一、「各作業」等を行う事によって浸水等の不具合が生じ、この不具合に起因する、付随的損害(撮影に要した諸費用及び撮影により得べかりし利益の喪失等)が発生した場合においても、弊社は一切、その責任を負いかねます。
 - 以上の注意事項、及び補償条項について、ご納得頂けない場合には、「各作業」等を行わないで下さい。未使用の場合に限り、関連製品の返品を受け付けます。詳細につきましては、弊社までお問合せ下さい。

- オプションについて**
- L型光DケーブルSS ￥5,200-(税抜)
製品内訳画像中の①です。対応するストロボ2台と、キャップ W11/W29/W51・遮光板ユニット本体とを直接接続する際、追加が必要となります。
 - 交換用光ファイバー-L型光DケーブルSS用 ￥3,000-(税抜)
製品内訳画像中の、①からストロボ取付用のコネクタを除いた物です。
 - キャップ W51・遮光板ユニット(予備部品付) ￥3,800-(税抜)
製品内訳画像中の、②、③、④、⑤、及び⑥のセットです。
 - ストロボ側L型コネクタキット(ワイヤレス対応) [保守部品] ￥2,500-(税抜)
製品内訳図中の、①から光ファイバーと除いたコネクタユニットの交換キットです。
 - センサープラグ・ワイヤレス対応 [保守部品] ￥600-(税抜)
本製品に標準装備されている、ワイヤレス対応、ストロボ用のセンサープラグです。
 - センサープラグ・ワイヤレス非対応 [保守部品] ￥600-(税抜)
ワイヤレス非対応、ストロボ用のセンサープラグです。本製品を、ワイヤレス非対応、ストロボ(本書内「接続対応ストロボ」の項参照)に使用する場合に、本製品のセンサープラグ・ワイヤレス対応と交換します。

有限会社 イン 〒247-0061 神奈川県鎌倉市台 2-18-9
Tel. 0467-48-2174 / Fax. 0467-48-2178
E-mail support@inon.co.jp / URL http://www.inon.co.jp/
2018年5月

※ 外部ストロボを使用する際の注意点、特に、(B)接続(遮光板不使用)で外部ストロボを使用する際には・・・

上述の(B)接続にて、外部ストロボを(カメラ内蔵ストロボのスレーブストロボとして)使用する場合や、他の外部ストロボと組み合わせて2灯以上の増灯を行う場合、撮影条件によっては、得られる**画像がオーバーとなる可能性があります。**

この現象は、(カメラ内蔵ストロボを含め)多灯とする事でストロボシステム合計の最小発光量が大きくなり、調光範囲の最短側が長くなってしまいう事に起因します。**特に、特定の(内蔵ストロボの最小発光量が比較的大きい)カメラで、遮光板等を使用せずに増灯を行い、最短撮影距離付近の撮影を行った場合、この現象が顕著に表れます**(お手元のカメラの最小発光量は、カメラ単体で最短撮影距離付近の内蔵ストロボ撮影を行いご確認ください)。以下の対策を行う事で、適正露出とする事が出来ます。ご検討下さい。

- (A)接続で使用する
- カメラの絞りをより絞った状態に変更する
- ストロボの位置を被写体から遠ざける
- 外部ストロボに減光板等を取り付け、光量を落とす[対応する場合のみ/外部ストロボ付属の使用説明書をご確認下さい。]

また、この接続方法では、カメラ内蔵ストロボの光が完全に遮光されない為、レンズ前のゴミ/浮遊物に可視光成分が反射して、**フリンジノイズ現象が発生しやすくなる可能性があります。**ご留意下さい。